YASDA
安田倉庫株式会社

２０１７年３月期通期
決算説明資料
２０１７年５月２２日

証券コード：9324　　http://www.yasuda-soko.co.jp/

構成

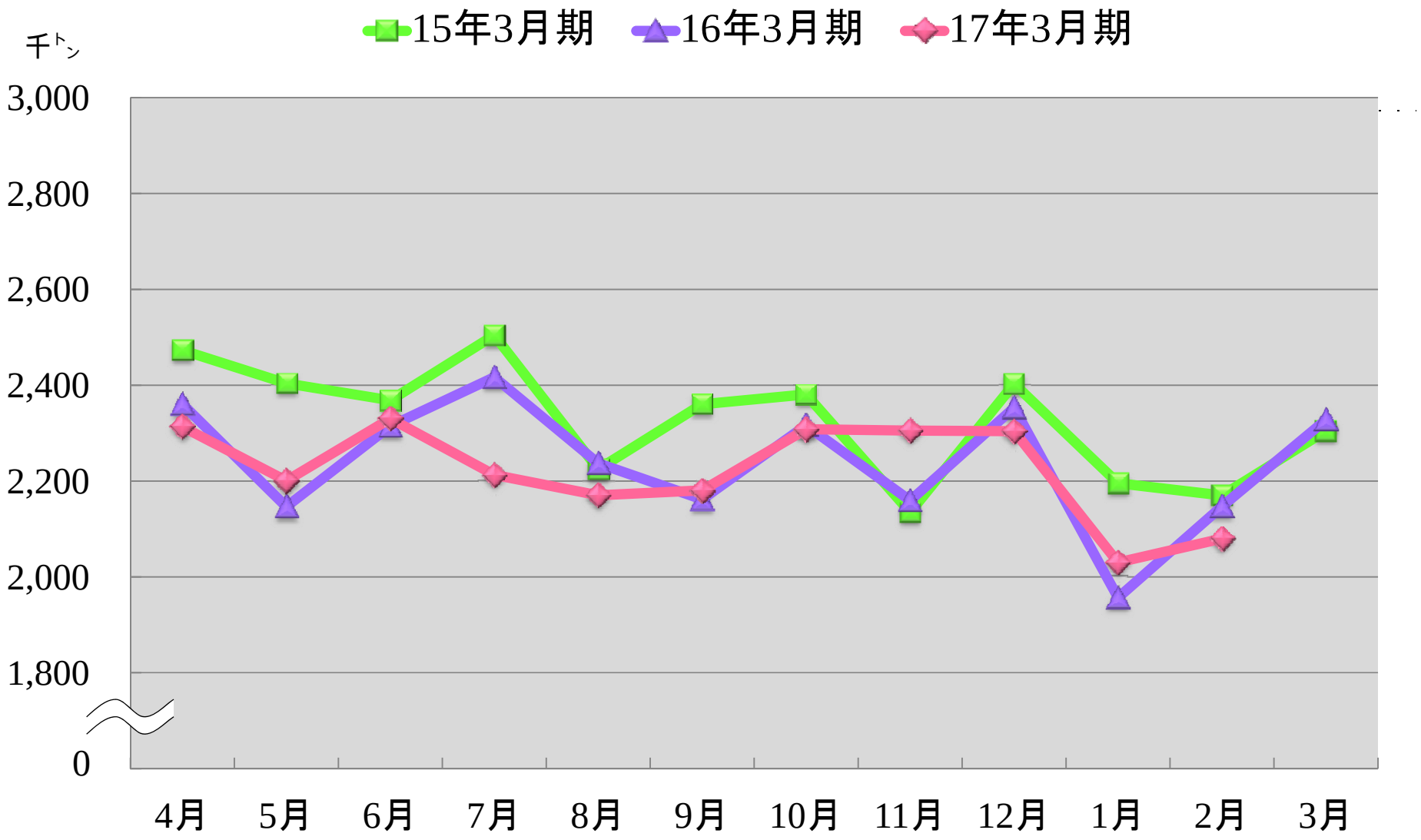
１．環境認識

２．２０１７年３月期通期の実績

３．２０１８年３月期通期の見通し

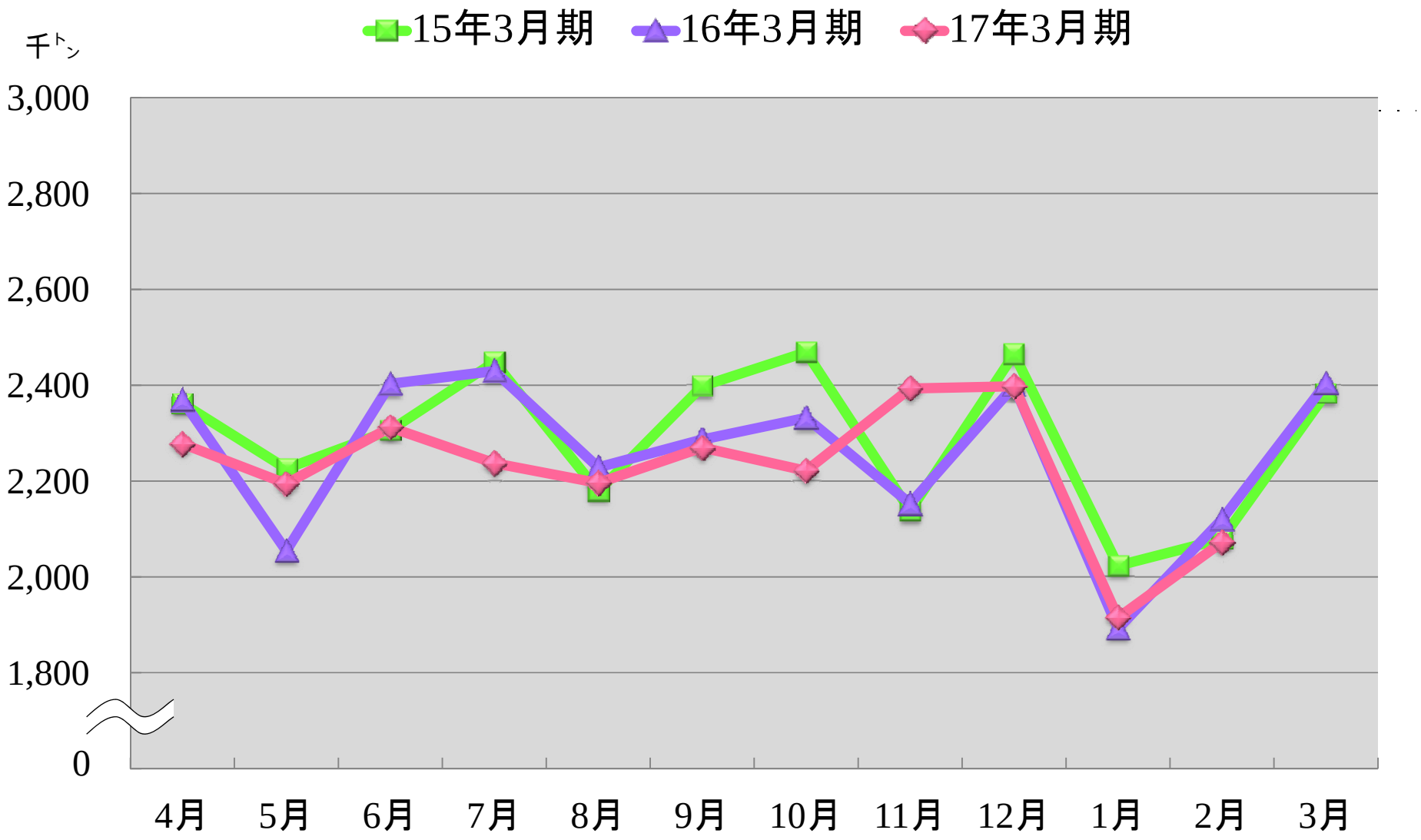
１． 環境認識

普通倉庫２１社統計　入庫高



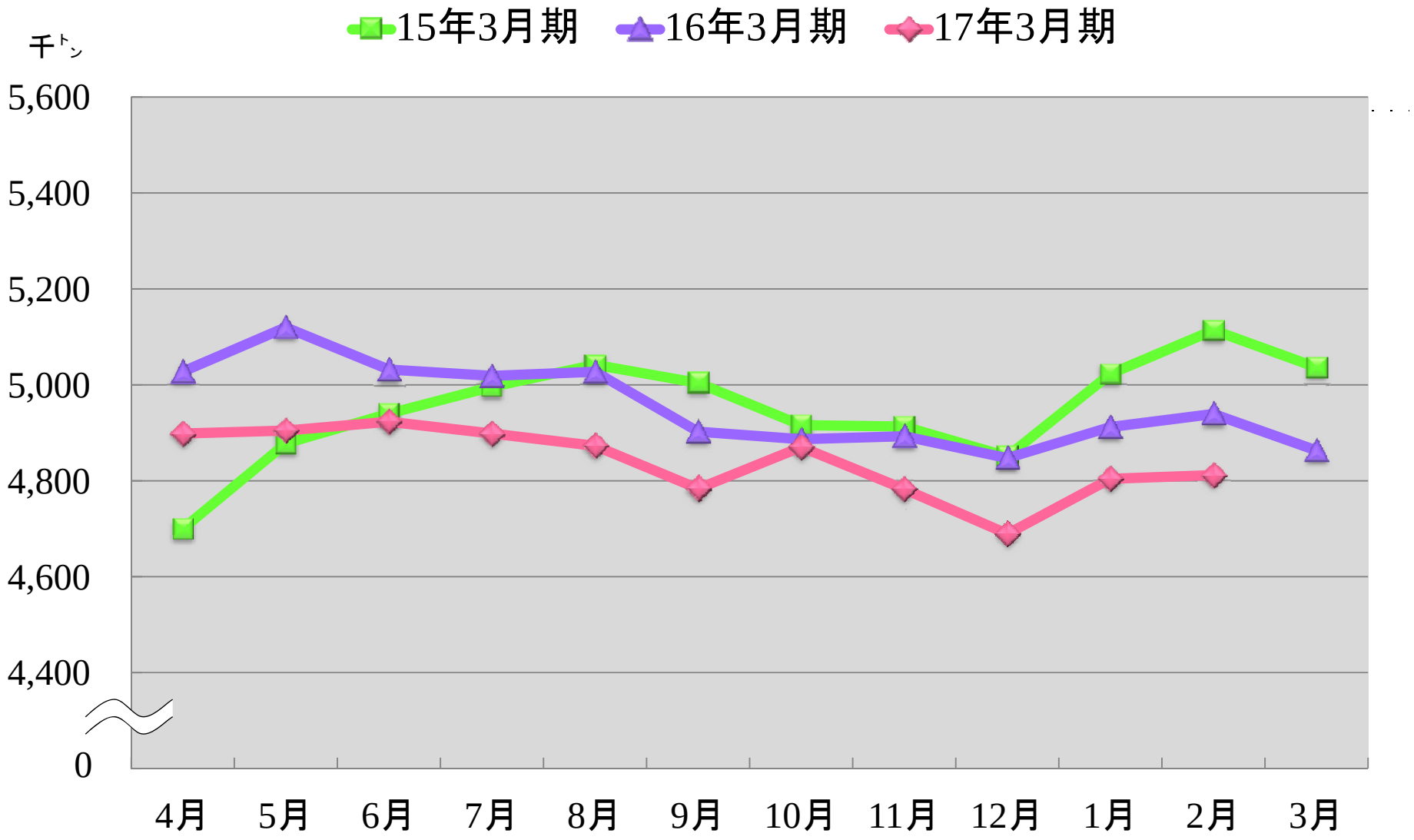
データ出典　：　社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫２１社統計　出庫高



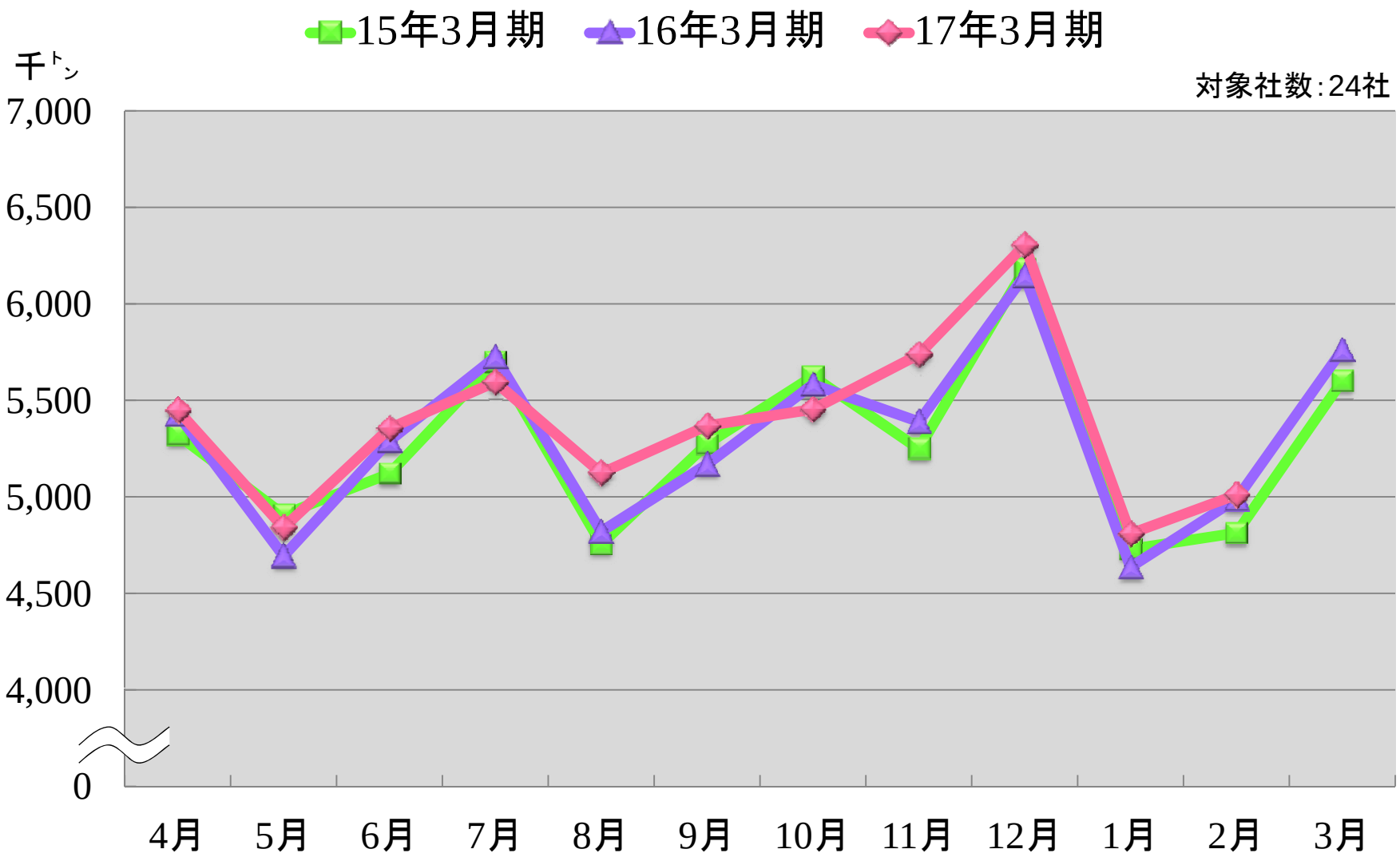
データ出典　：　社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫２１社統計　保管残高



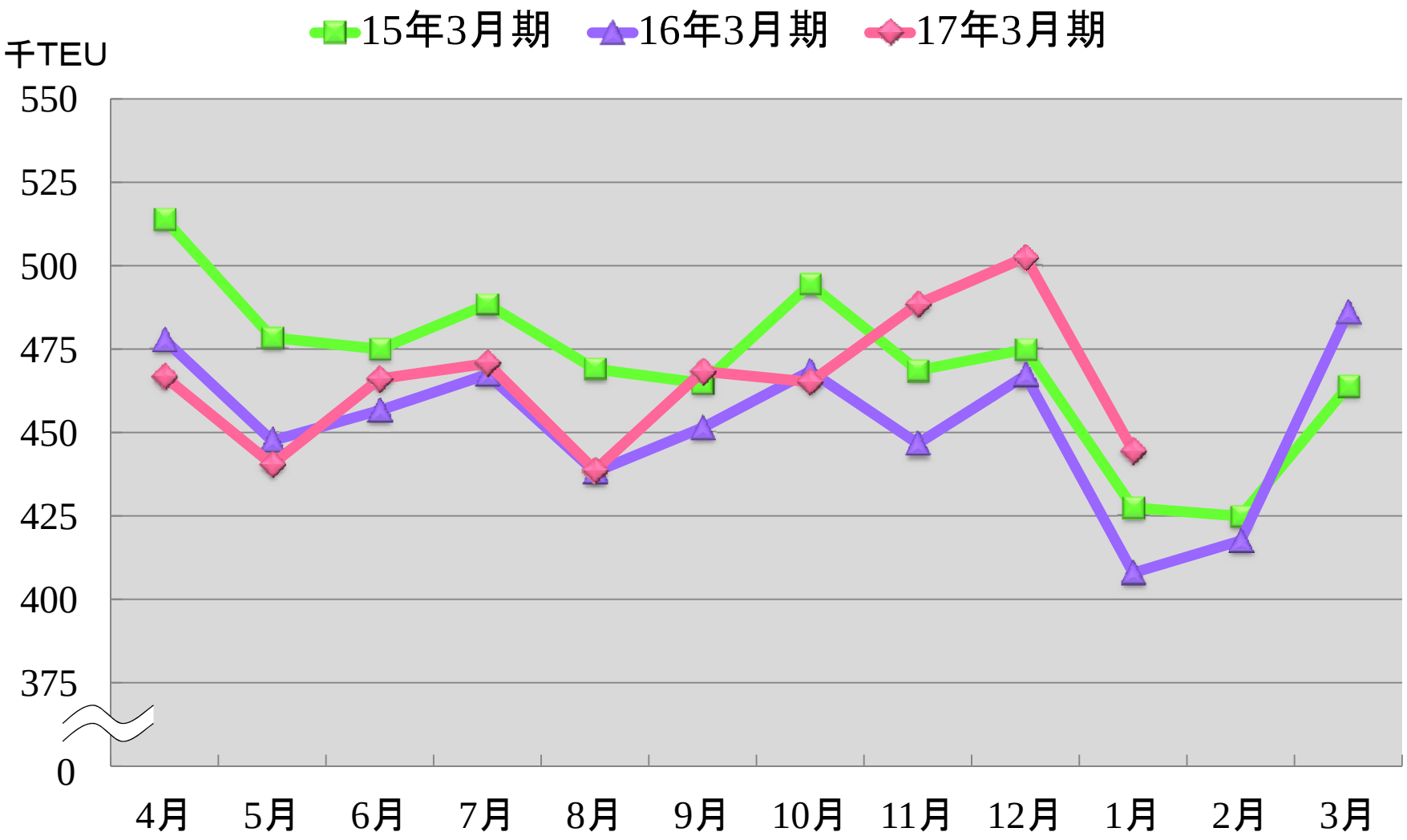
データ出典　：　社団法人 日本倉庫協会

特積貨物輸送トン数



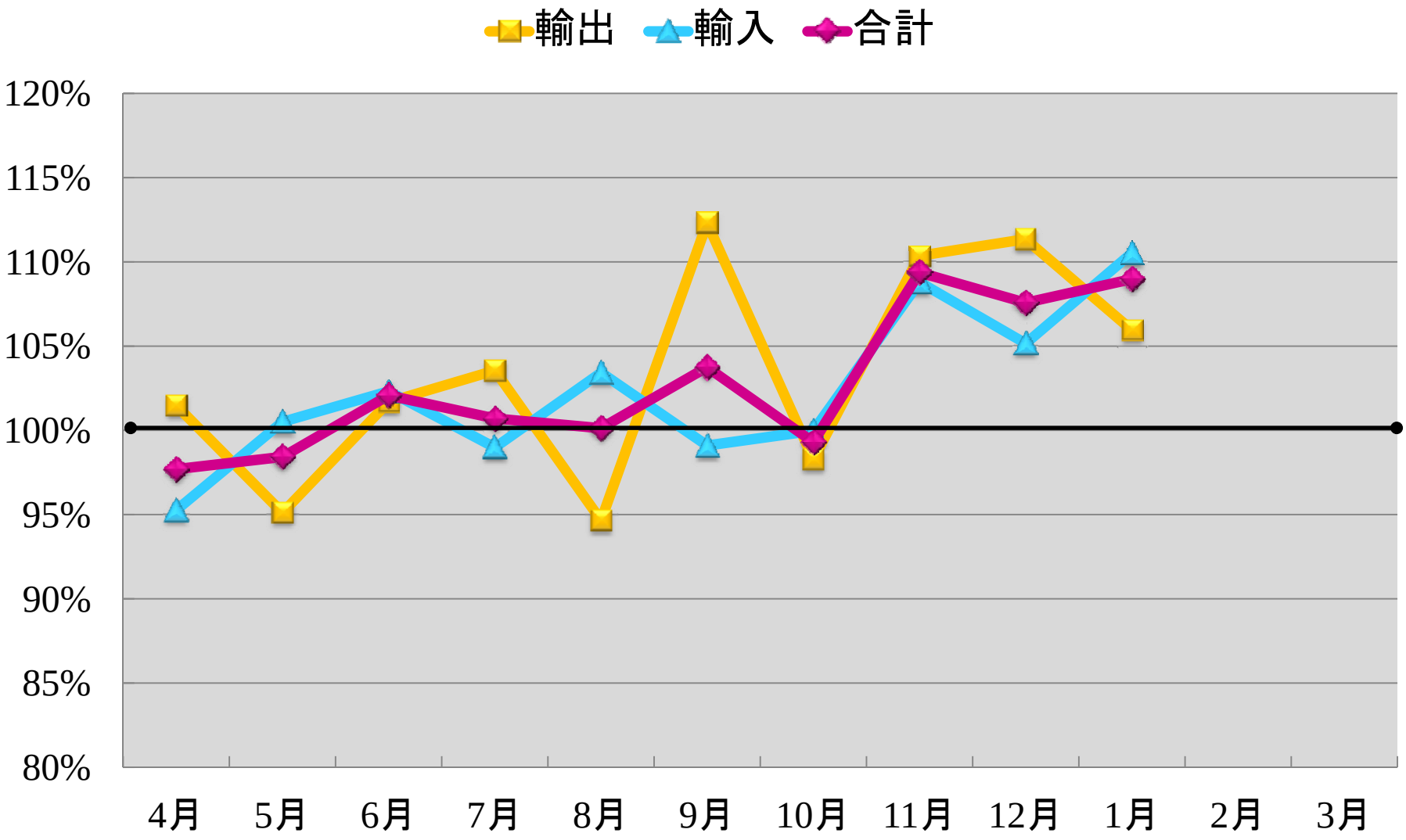
データ出典 ： 国土交通省 トラック輸送情報

コンテナ取扱本数（京浜港）輸出入合計



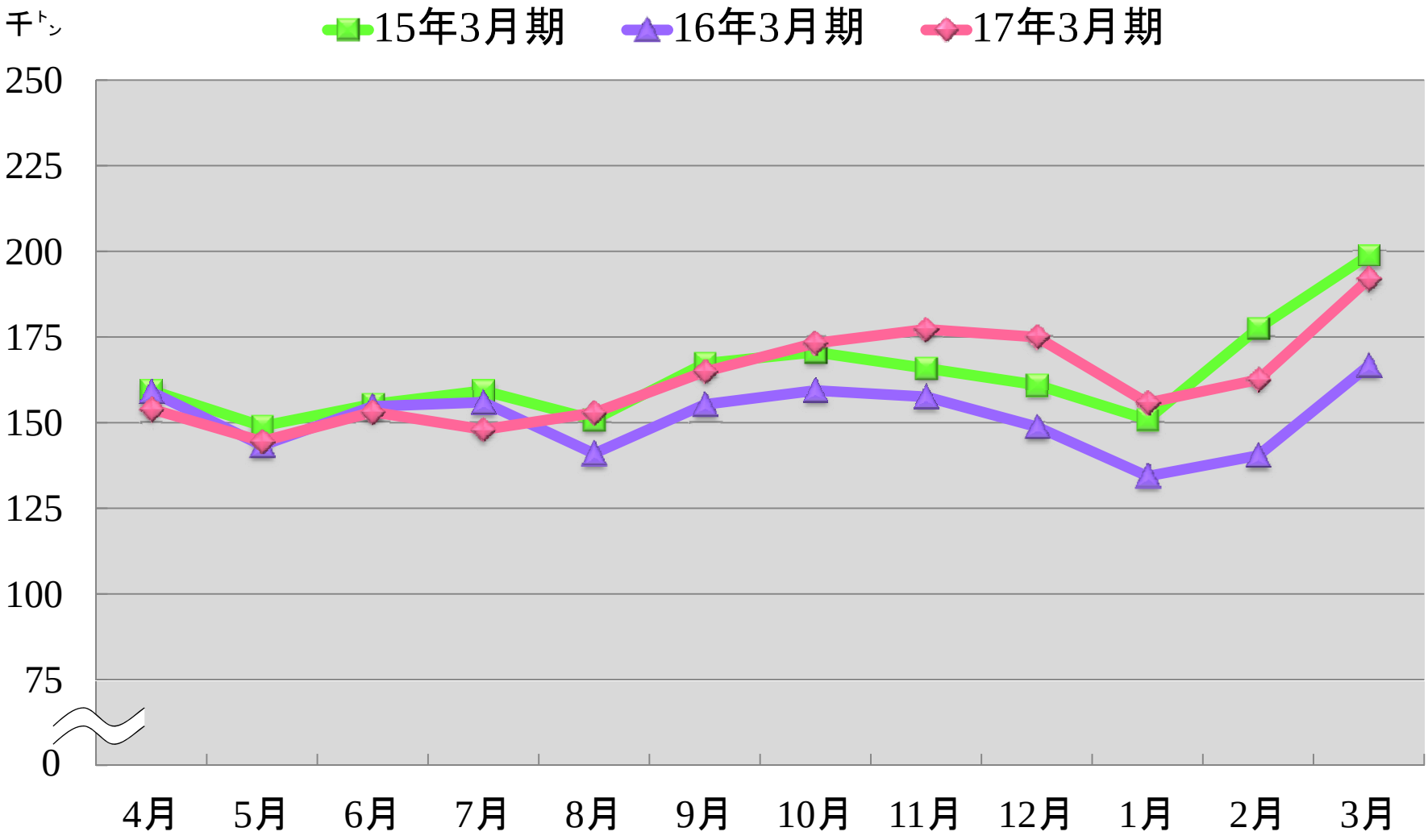
データ出典 ： 東京都港湾局 港湾統計 、 横浜市港湾局 横浜港の統計

コンテナ取扱本数（京浜港）前年同月比



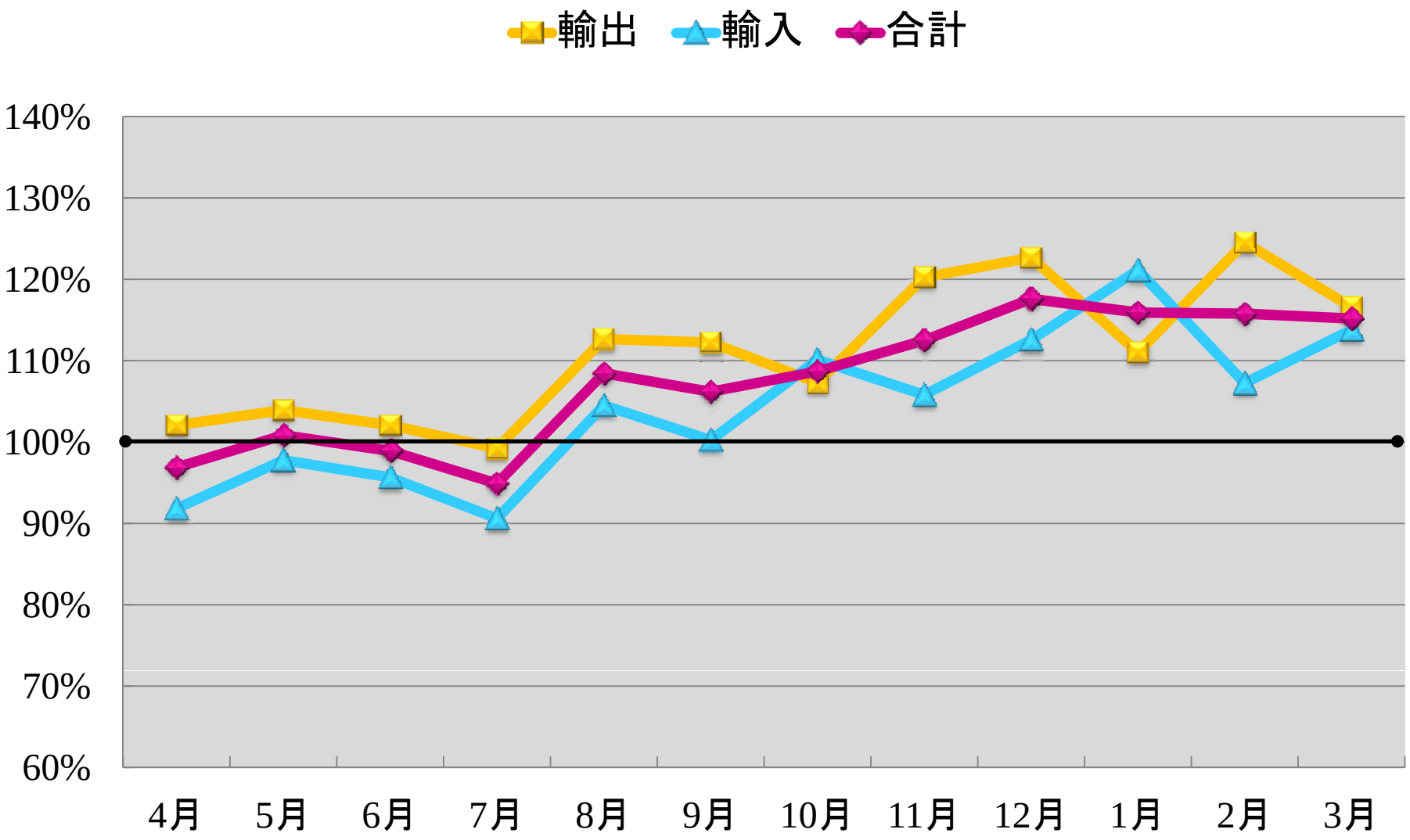
データ出典 ： 東京都港湾局 港湾統計 、 横浜市港湾局 横浜港の統計

国際航空貨物取扱量　輸出入合計



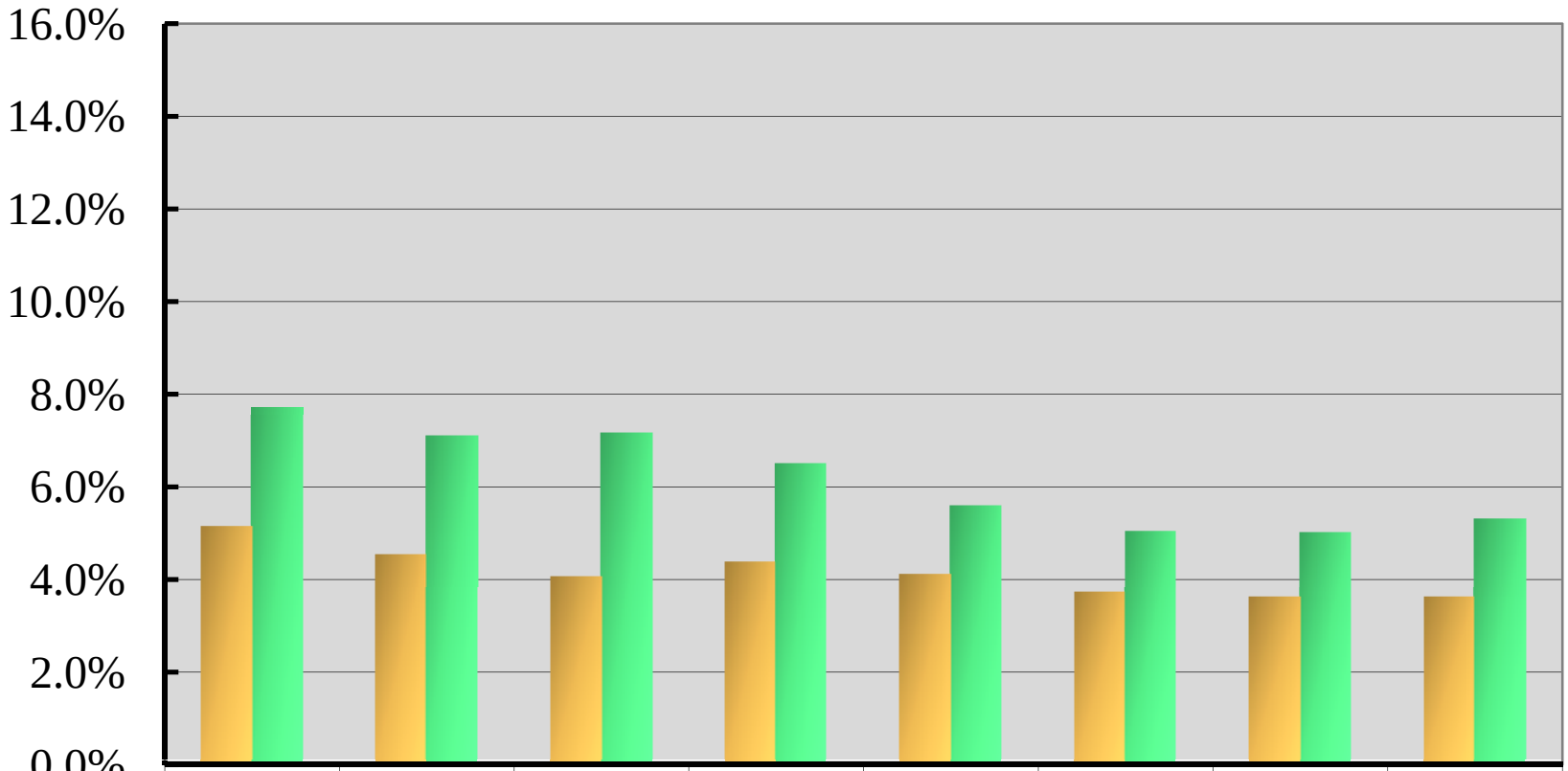
データ出典 ： 社団法人 航空貨物運送協会

国際航空貨物取扱量　前年同月比



データ出典 ： 社団法人 航空貨物運送協会

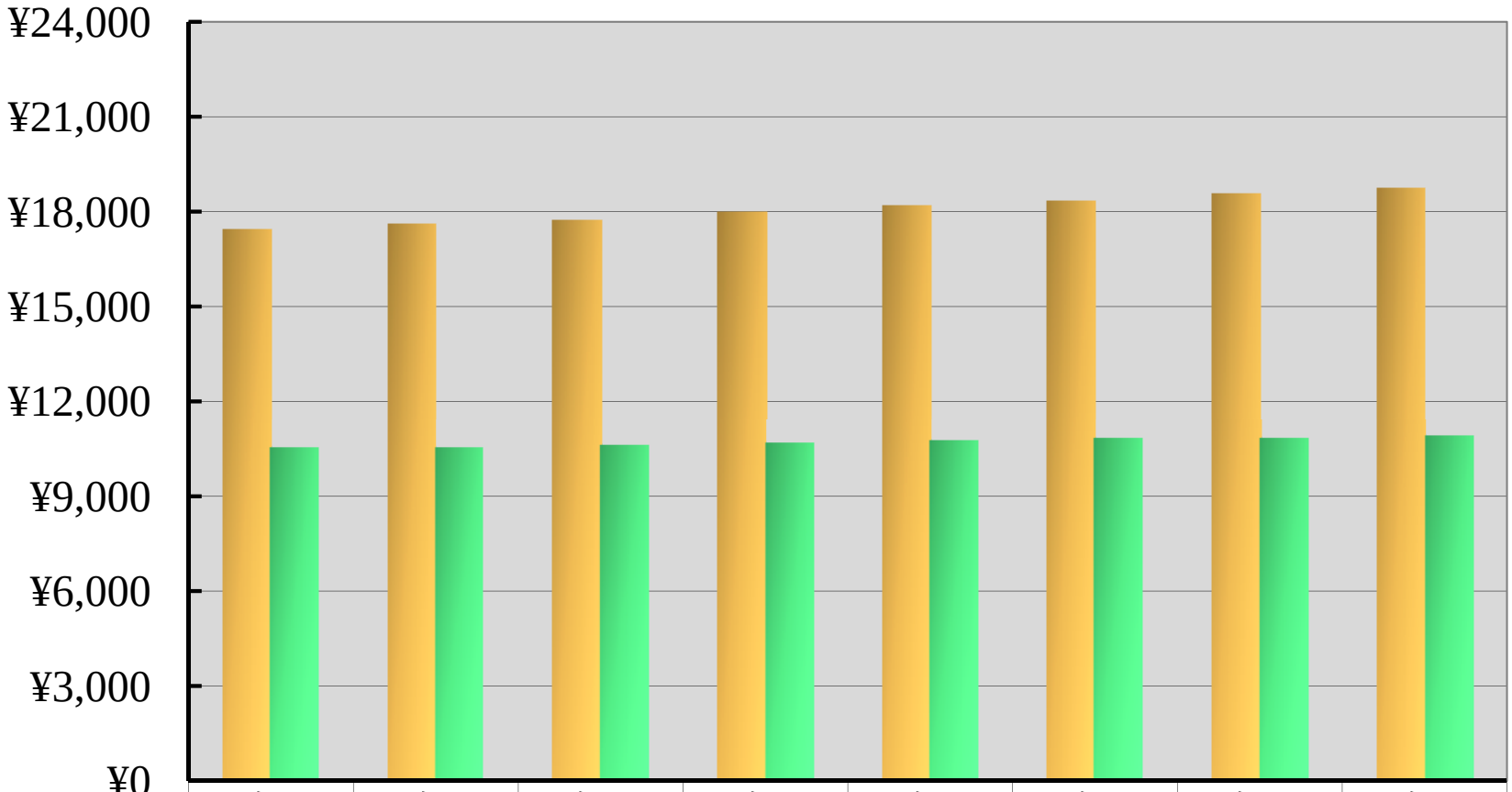
オフィス空室率



	15年6月	15年9月	15年12月	16年3月	16年6月	16年9月	16年12月	17年3月
東京ビジネス地区	5.1%	4.5%	4.0%	4.3%	4.1%	3.7%	3.6%	3.6%
横浜ビジネス地区	7.7%	7.1%	7.1%	6.5%	5.6%	5.0%	5.0%	5.3%

データ出典 ： 三鬼商事株式会社 市況・データ情報

オフィス募集賃料相場（円／坪）



	15年6月	15年9月	15年12月	16年3月	16年6月	16年9月	16年12月	17年3月
東京ビジネス地区	¥17,401	¥17,594	¥17,692	¥17,973	¥18,179	¥18,336	¥18,540	¥18,730
横浜ビジネス地区	¥10,491	¥10,519	¥10,565	¥10,649	¥10,731	¥10,809	¥10,813	¥10,849

データ出典 ： 三鬼商事株式会社 市況・データ情報

２．２０１７年３月期通期の実績

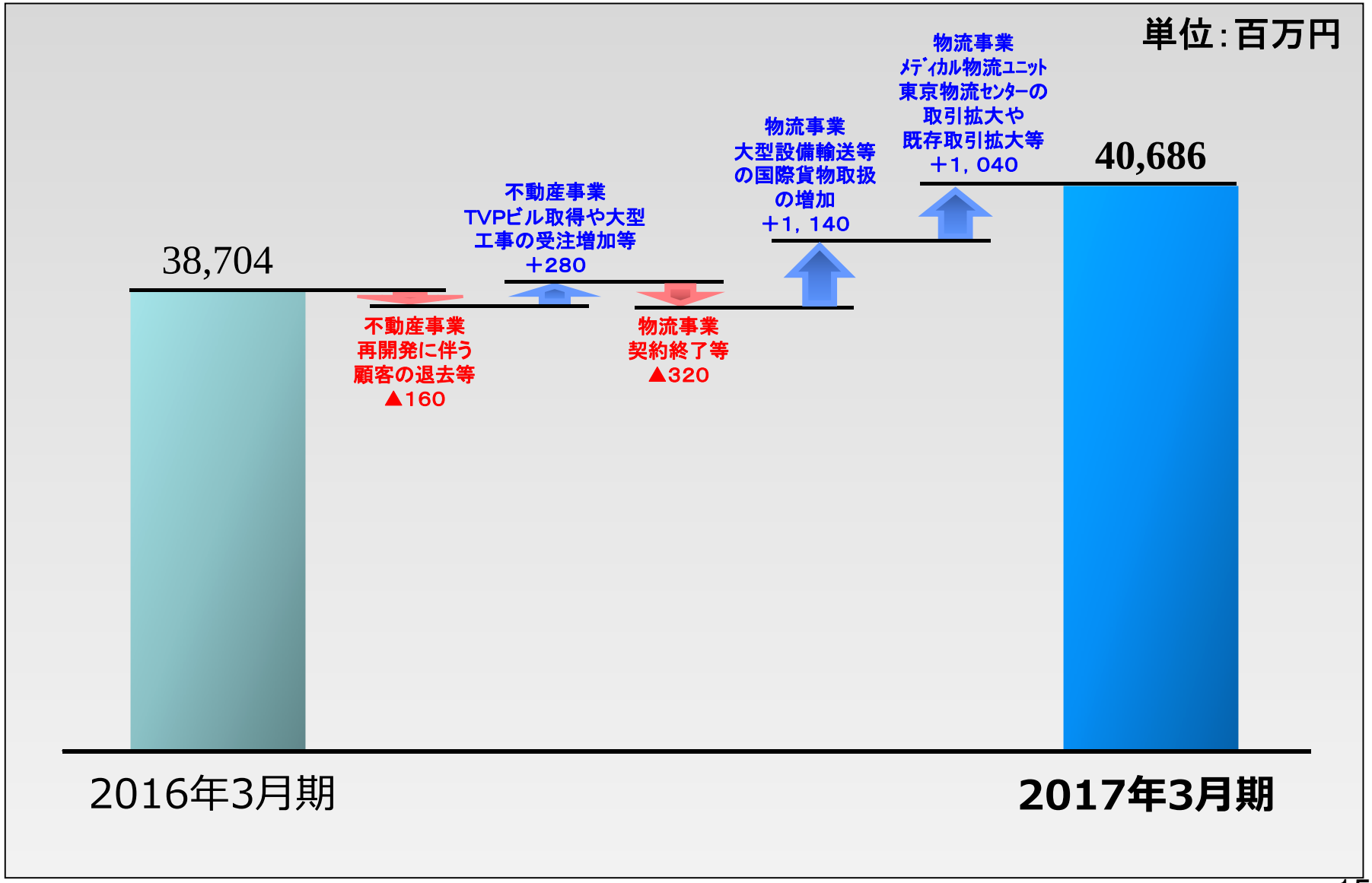
当社業績

単位:百万円

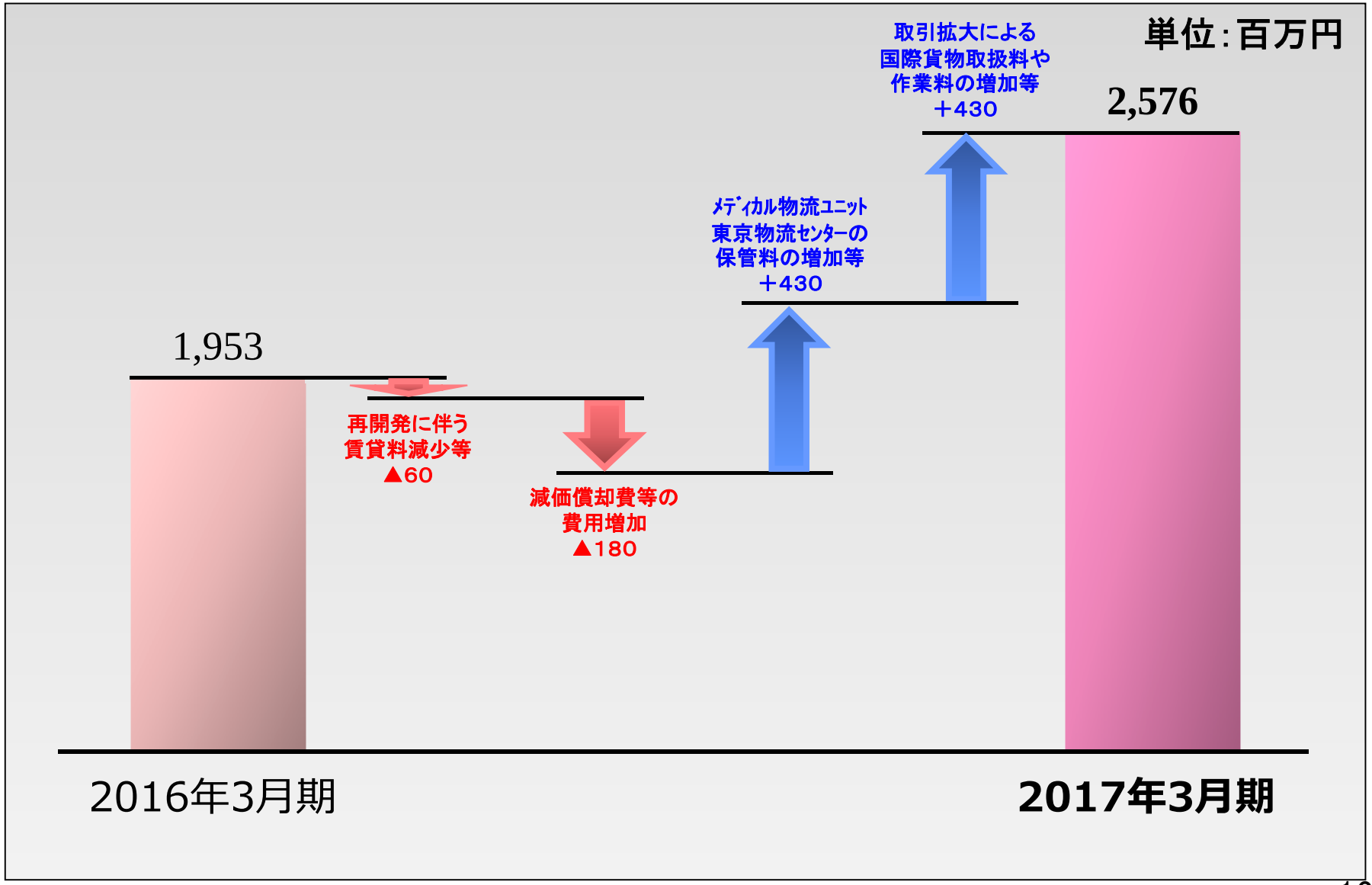
前年同期対比	連結		前年同期比	
	16／03期	17／03期	増減額	増減率
営業収益	38, 704	40, 686	1, 981	5. 1%
営業利益	1, 953	2, 576	623	31. 9%
経常利益	2, 448	3, 099	650	26. 6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1, 394	2, 084	689	49. 5%
営業収益営業利益率	5. 0%	6. 3%	1. 3pt	―
1株当たり当期純利益(円)	45. 95	68. 84	22. 89	49. 8%

総資産	107, 994	109, 156	1, 161	1. 1%
純資産	60, 720	61, 188	468	0. 8%
自己資本比率	56. 0%	55. 8%	▲0. 2pt	―
1株当たり純資産(円)	1, 992. 13	2, 065. 76	73. 63	3. 7%

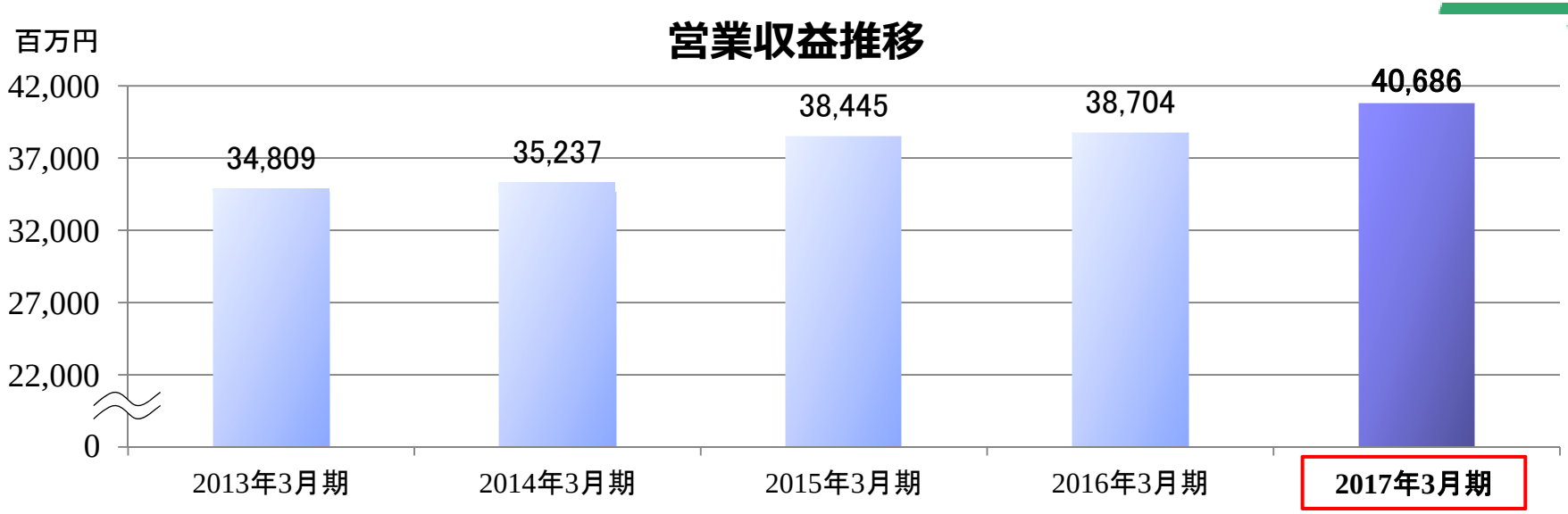
営業収益の主な変動要因

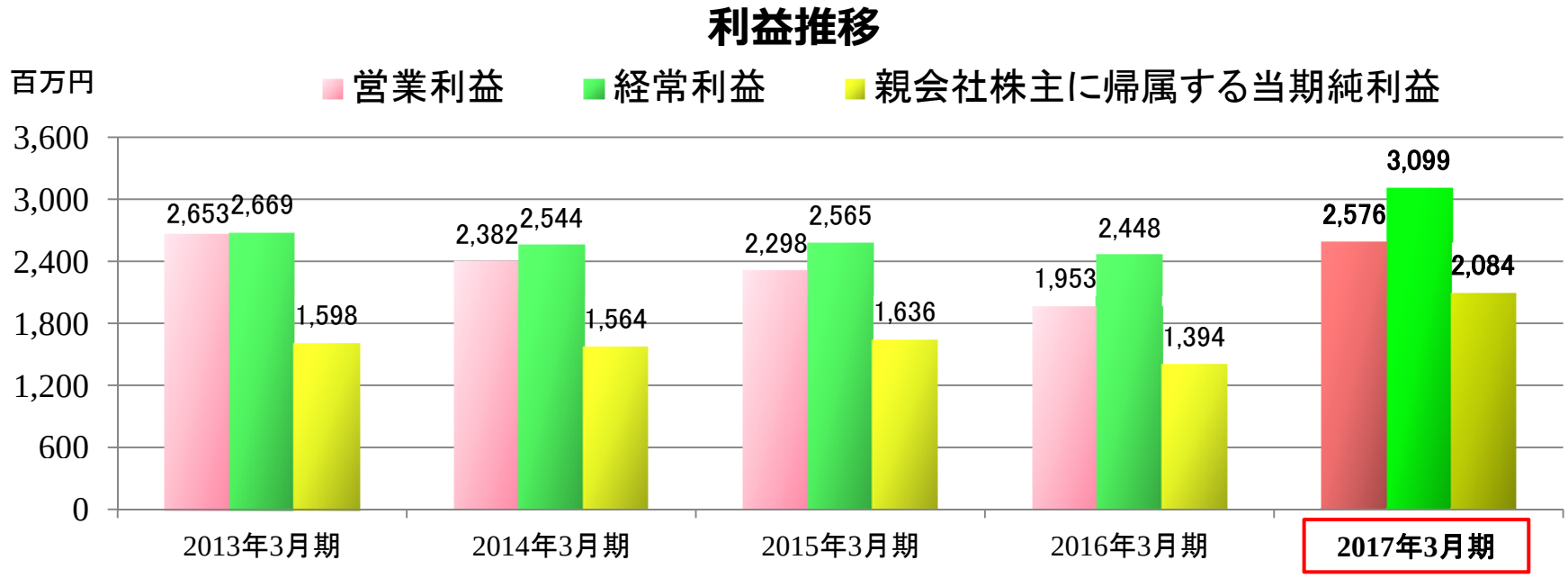


営業利益の主な変動要因



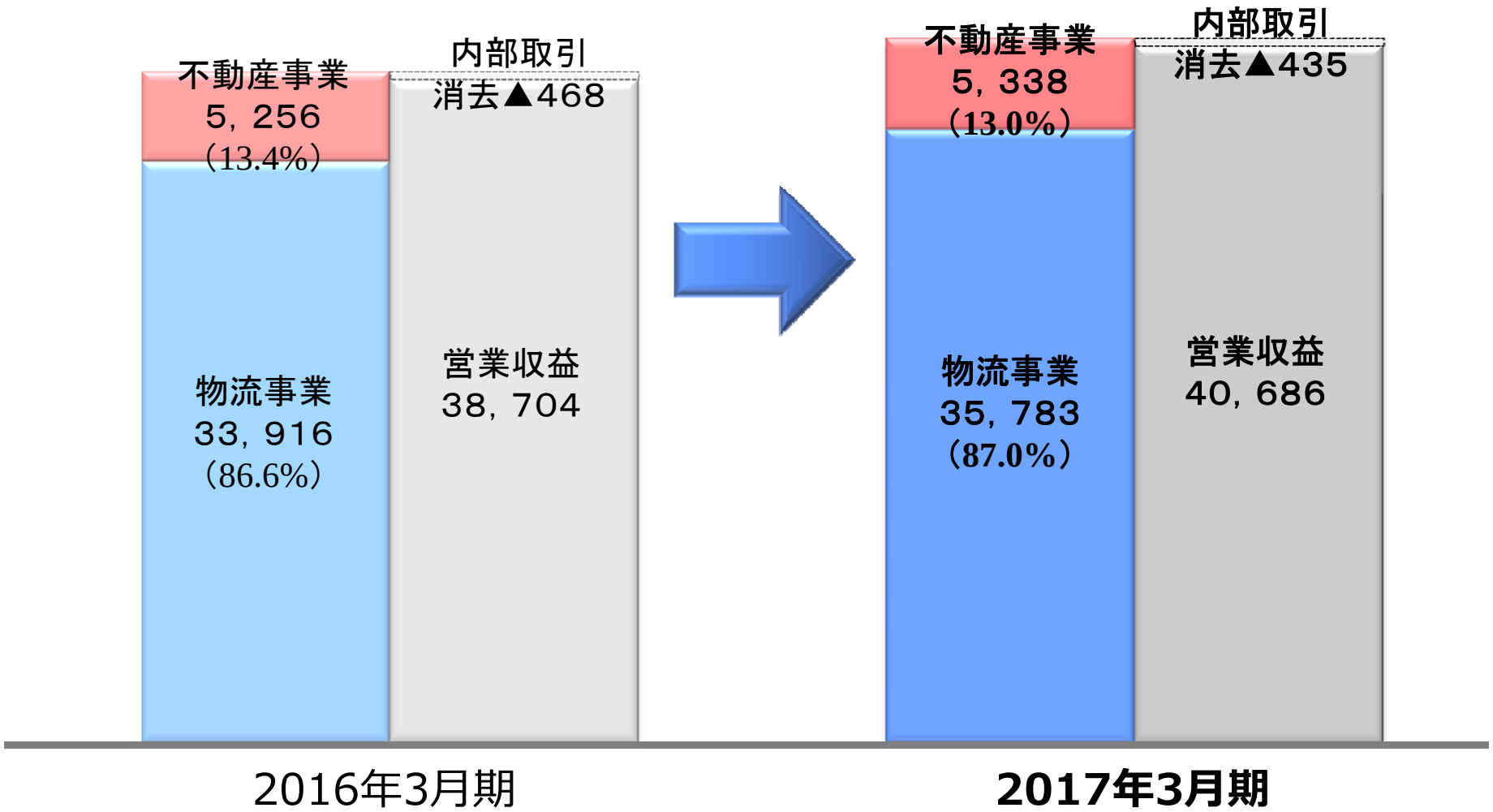
業績推移


営業収益推移
百万円
42,000
37,000
32,000
27,000
22,000
0
34,809
35,237
38,445
38,704
40,686
2013年3月期
2014年3月期
2015年3月期
2016年3月期
2017年3月期


利益推移
百万円
営業利益
経常利益
親会社株主に帰属する当期純利益
3,600
3,000
2,400
1,800
1,200
600
0
2,653
2,669
1,598
2,382
2,544
1,564
2,298
2,565
1,636
1,953
2,448
1,394
2,576
3,099
2,084
2013年3月期
2014年3月期
2015年3月期
2016年3月期
2017年3月期

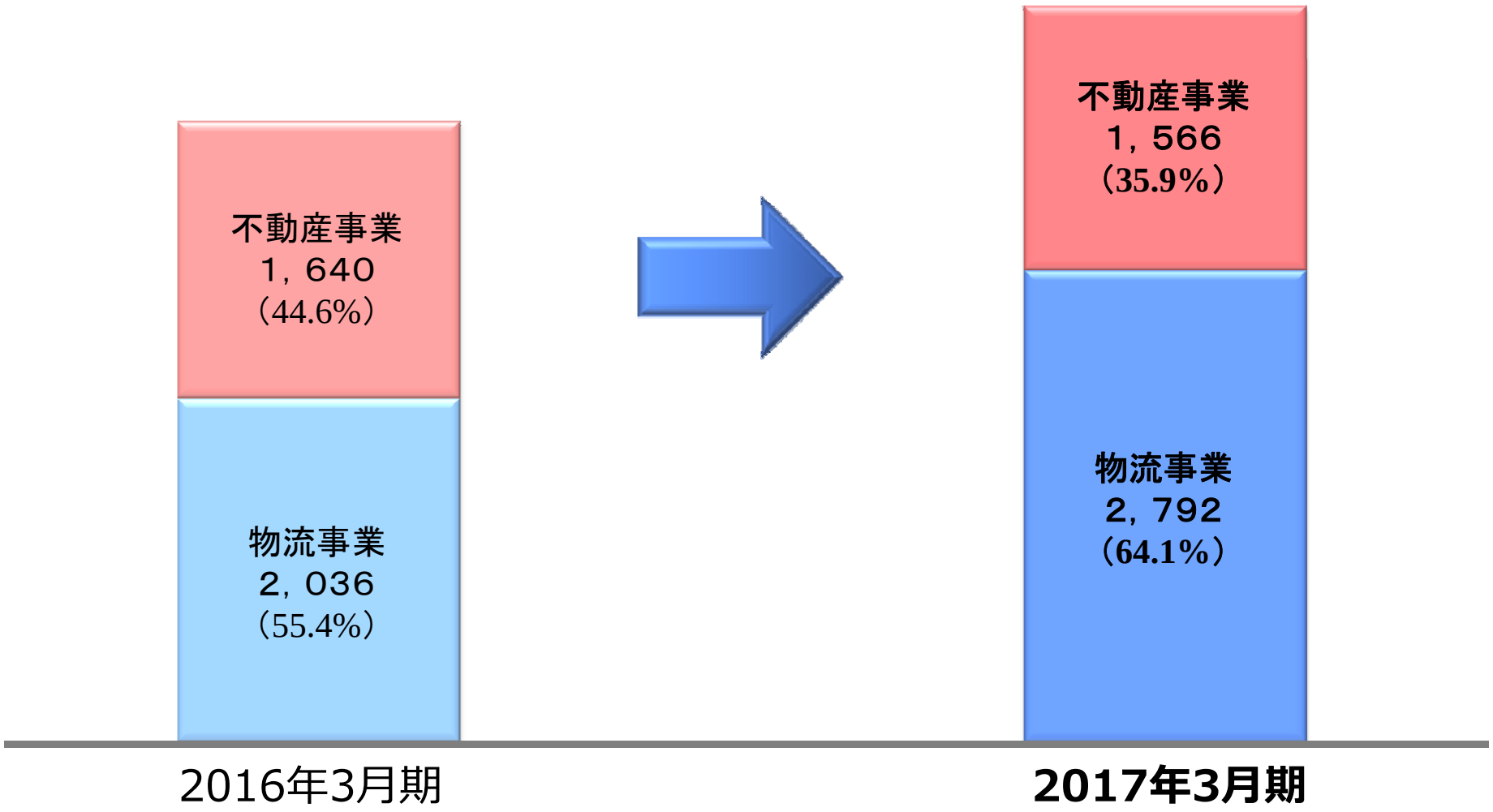
セグメント別営業収益

単位：百万円
（）内は構成比



セグメント別営業利益

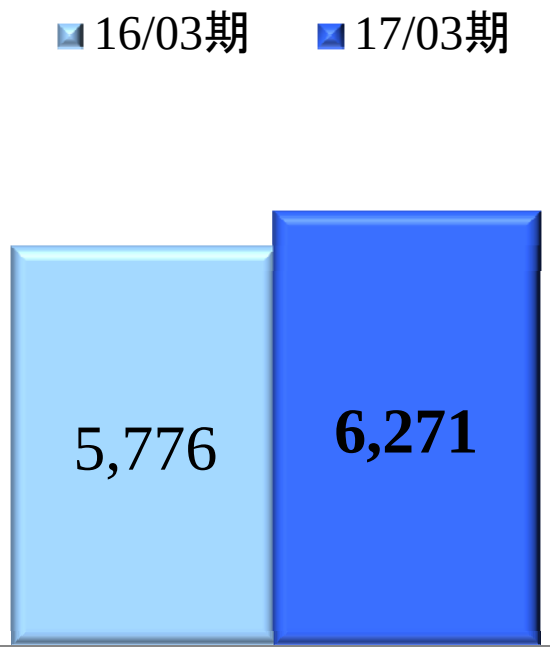
単位：百万円



物流事業　営業収益科目別対比表

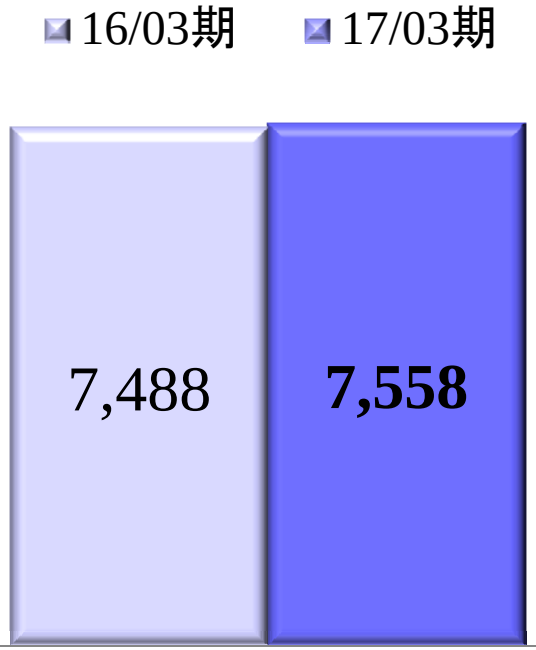
単位：百万円

保管料



メディカル物流ユニット東京物流センターの取引拡大などにより前期比増収

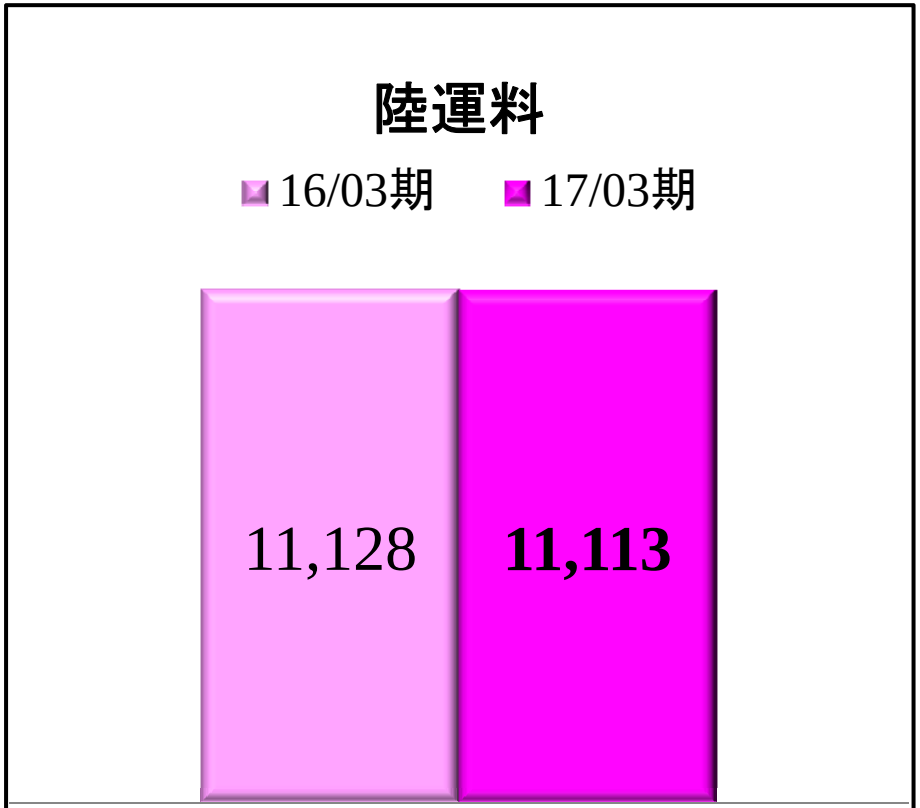
倉庫作業料



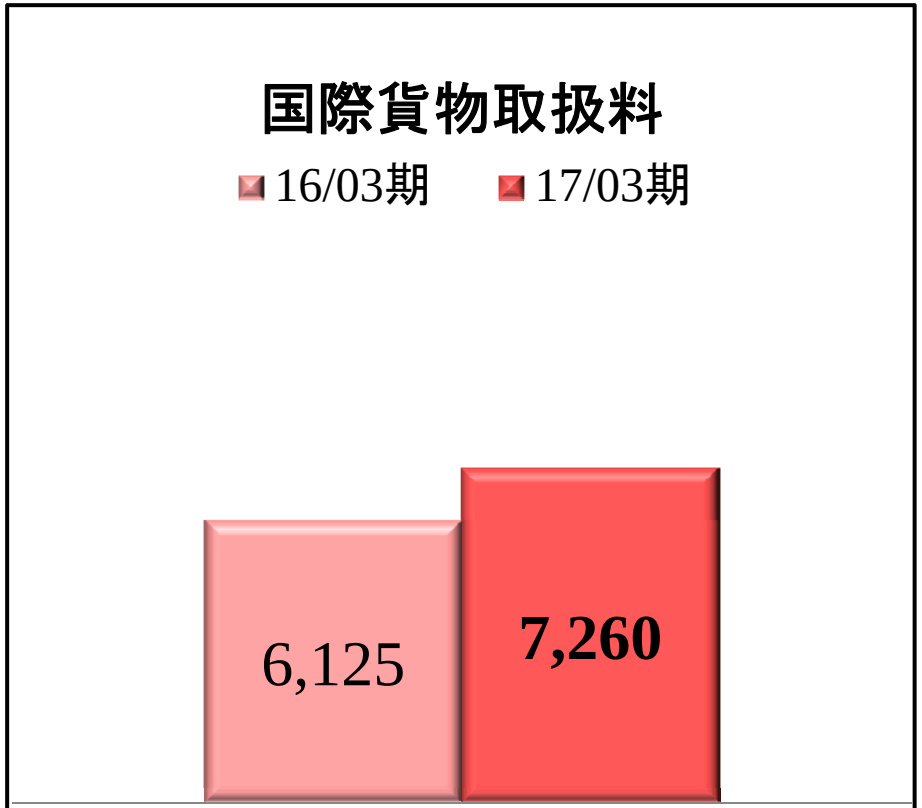
キッティングの受注拡大や既存顧客の取引拡大などにより前期比増収

物流事業　営業収益科目別対比表

単位：百万円



既存取引の一部減少などにより前期比減収

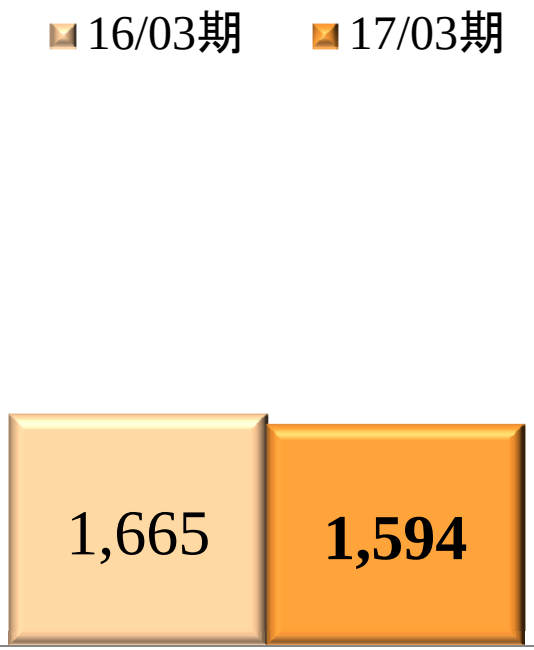


大型設備輸送の取扱増加などにより前期比増収

物流事業　営業収益科目別対比表

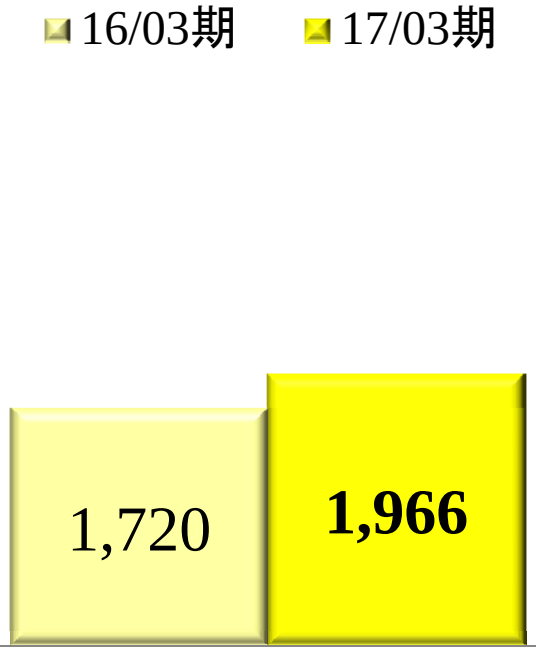
単位：百万円

物流賃貸料



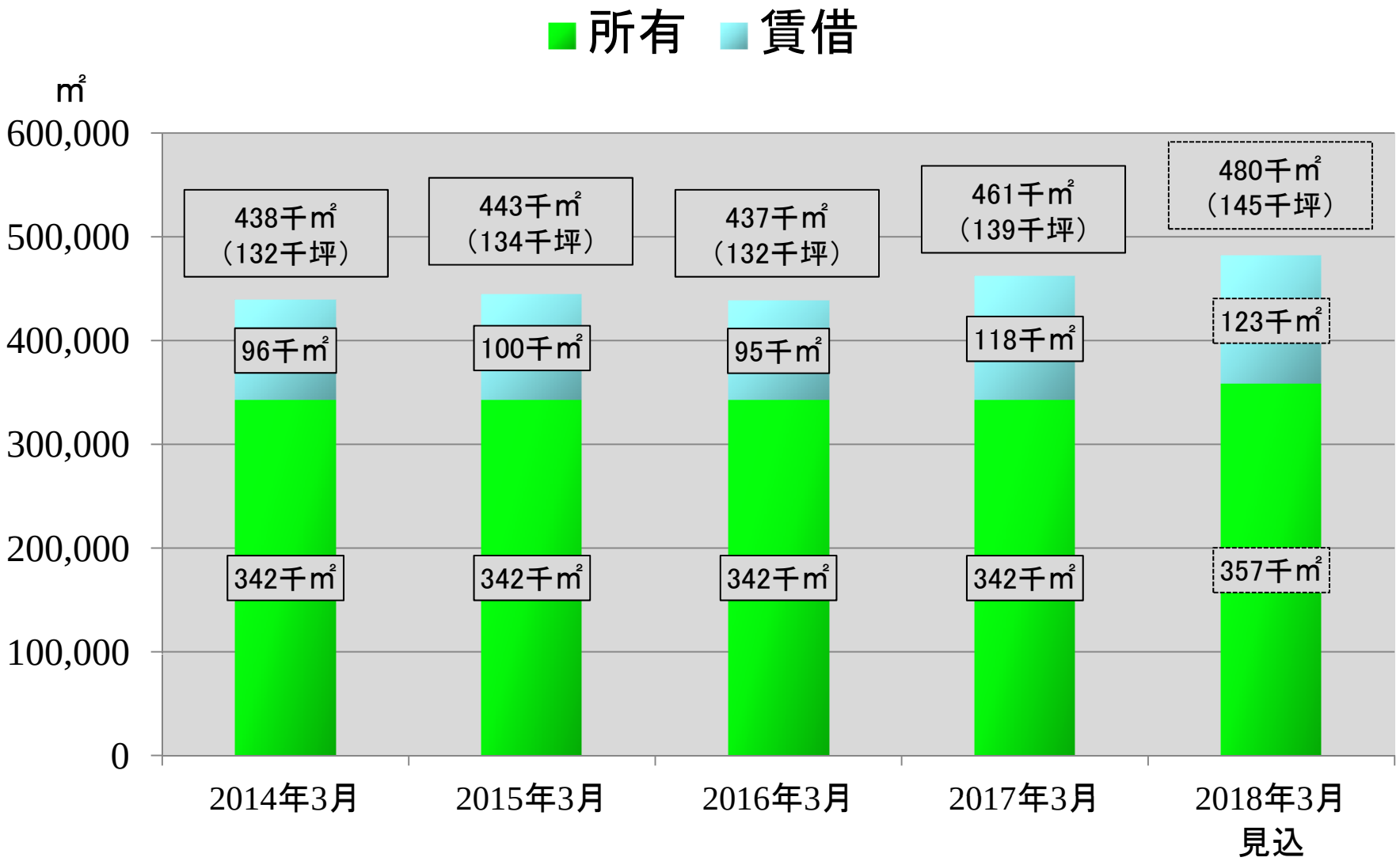
計上科目の変更により前期比減収

その他（物流）



メディカル物流ユニット東京物流センターの取引拡大などにより前期比増収

施設面積推移


所有
賃借
㎡
600,000
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
438千㎡
（132千坪）
443千㎡
（134千坪）
437千㎡
（132千坪）
461千㎡
（139千坪）
480千㎡
（145千坪）
96千㎡
100千㎡
95千㎡
118千㎡
123千㎡
342千㎡
342千㎡
342千㎡
342千㎡
357千㎡
2014年3月
2015年3月
2016年3月
2017年3月
2018年3月
見込

中国（上海）に１号倉庫開設

◆所　　在：上海市青浦区青浦工業園区新技路66号

◆敷地面積：約１１，５５０坪

◆延床面積：約２，８３０坪

◆主要構造：鉄骨造

◆階　　数：１階、一部２階(事務所)

◆特　　徴：
高速道路ランプに近く、上海エリアだけでなく地方都市へのアクセスも良好。中国国内消費に関わる物流拠点として最適な立地。

（倉庫外観）

九州営業所開設予定

◆名　　称：安田倉庫株式会社　九州営業所

◆所　　在：福岡県三井郡大刀洗町

◆敷地面積：約５，０００坪

◆延床面積：約５，５００坪

◆主要構造：鉄骨造

◆階　　数：地上２階

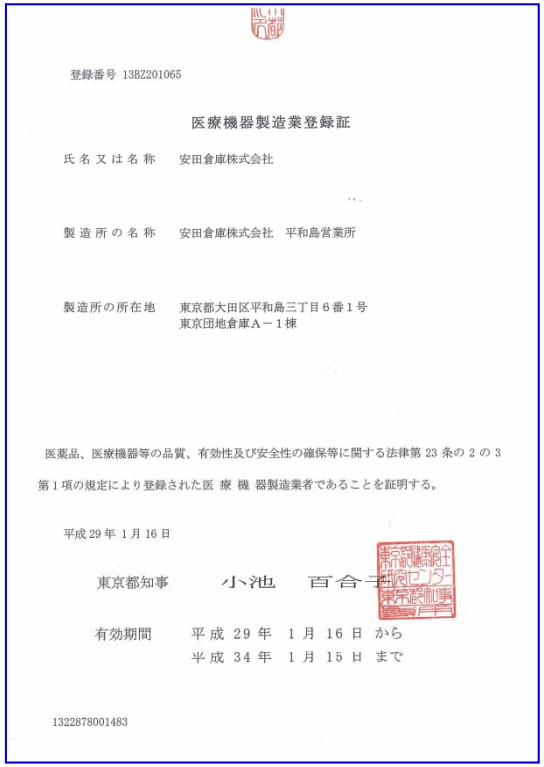
◆スケジュール：
・平成２８年８月着工
・平成２９年７月竣工予定

（イメージ図）

「医療機器製造業」の登録

◆医薬品医療機器等法に規定される
「医療機器製造業」の登録申請を行い、
当社平和島営業所を製造所として登録

◆医療機器の製造工程のうち
①主たる組立、その他主たる製造工程
②滅菌
③国内における最終製品の保管
が可能



登録番号 13BZ201065

医療機器製造業登録証

氏名又は名称　安田倉庫株式会社

製造所の名称　安田倉庫株式会社　平和島営業所

製造所の所在地　東京都大田区平和島三丁目６番１号
東京団地倉庫Ａ－１棟

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 23 条の 2 の 3 第 1 項の規定により登録された医 療 機 器製造業者であることを証明する。

平成 29 年 1 月 16 日

東京都知事　小池　百合子

有効期間　平成 29 年 1 月 16 日 から
平成 34 年 1 月 15 日 まで

1322878001483

（医療機器製造業登録証）

トピックス　－４－

YASDA

１．新規取引の開始

（１）イベント企画会社への賃貸　・・・大阪営業所

（２）通信販売用の衣類の保管／配送業務　・・・中国上海

２．既存取引の拡大

（１）医薬品の保管業務　・・・メディカル物流ユニット東京物流センター

（２）医療機器の保管／配送業務　・・・平和島営業所

（３）電子タバコの検品／加工業務　・・・守屋町営業所

（４）飲料用容器の保管／配送業務　・・・茨木営業所

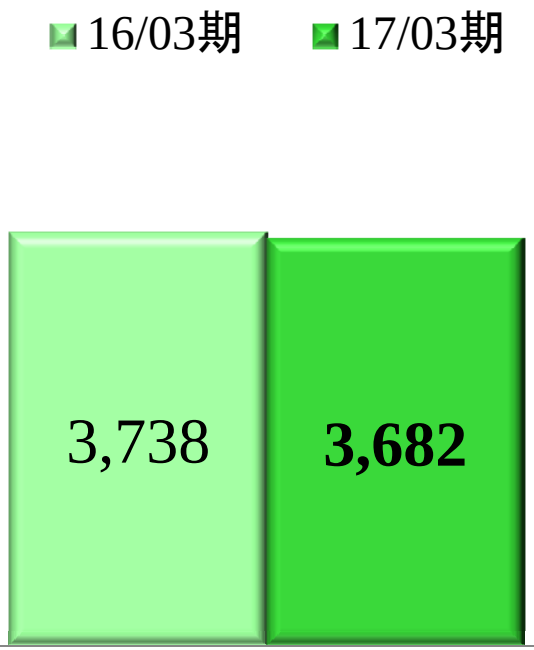
（５）食品の保管／輸出業務　・・・大黒営業所

（６）大型設備の国際輸送業務　・・・国際輸送センター

不動産事業　営業収益科目別対比表

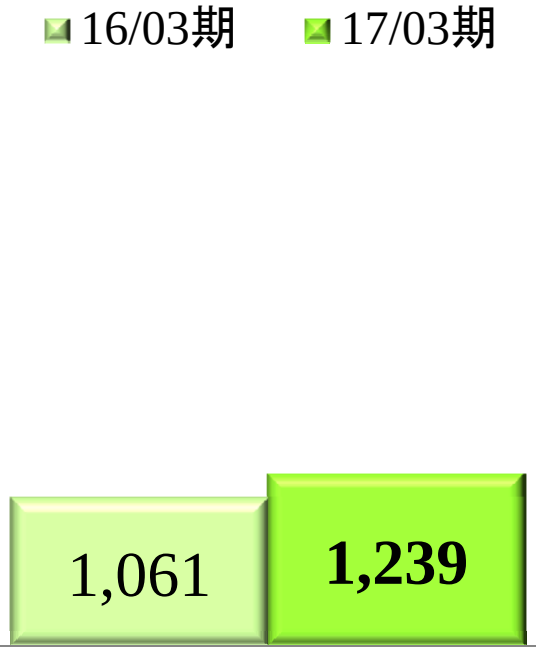
単位：百万円

不動産賃貸料



再開発に伴う顧客の退去などにより前期比減収

その他（不動産）



大型工事の受注増加などにより前期比増収

ＴＶＰビル取得

◆所　　在：横浜市神奈川区守屋町
（当社守屋町営業所に隣接）

◆敷地面積：約１，７００坪

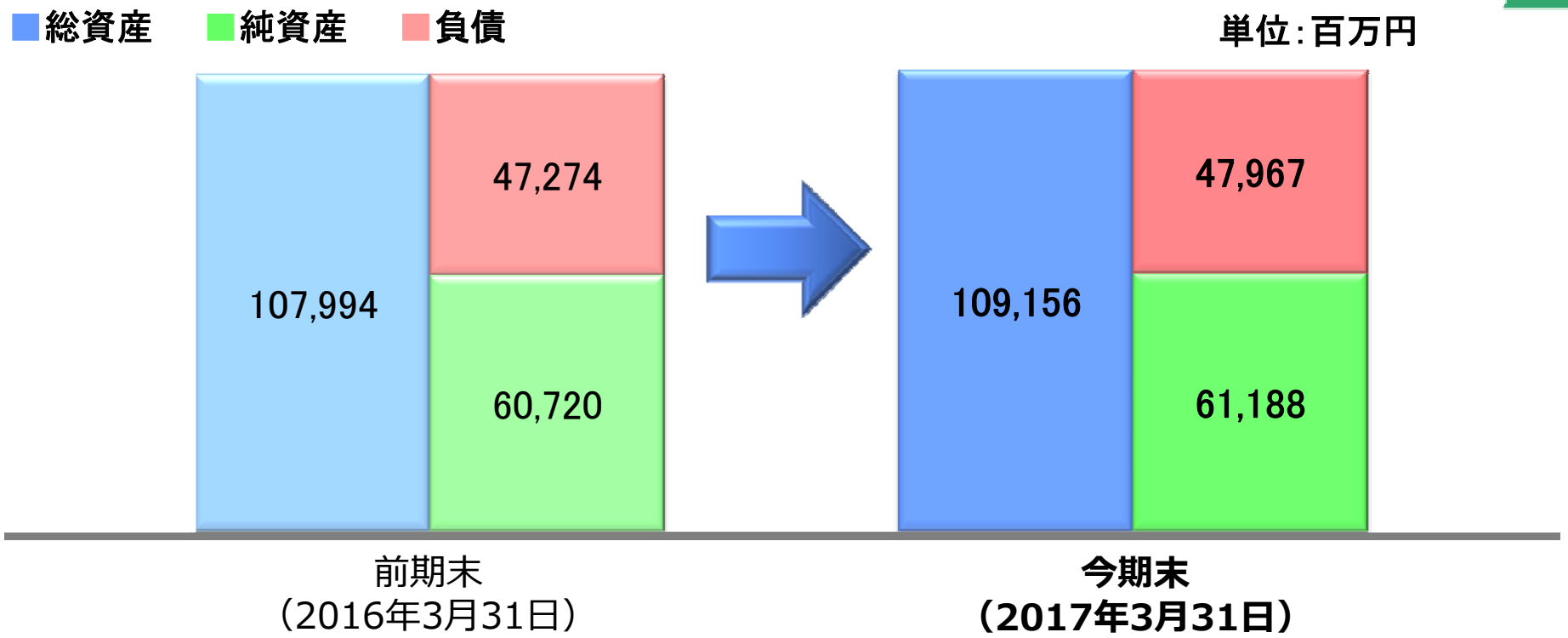
◆用　　途：賃貸用事務所、駐車場

◆構　　造：鉄筋コンクリート造陸屋根
３階建

◆延床面積：約２，３７０坪

（建物外観）

連結財政状態



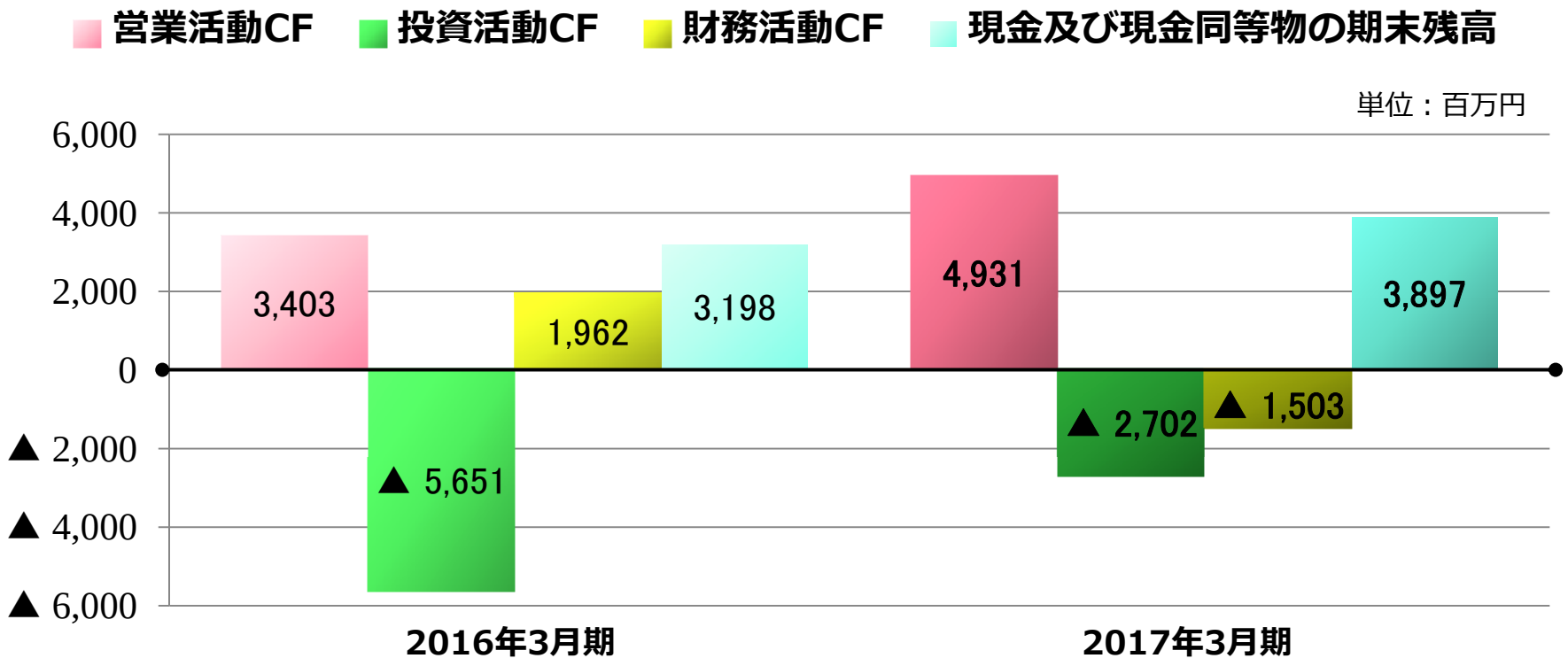
主な増減要因(対前期比)

◆総資産：営業収益増加に伴う受取手形及び営業未収金の増加(+864百万円)
建物及び構築物、土地の減少(▲3,009百万円)
建設仮勘定の増加(+3,256百万円)

◆負　債：未払法人税等の増加(+423百万円)

◆純資産：利益剰余金の増加(+1,659百万円)
自己株式の取得(▲656百万円)

連結キャッシュフローの状況



主な増減要因(対前期比)

◆営業活動CF：税金等調整前当期純利益や減価償却費の増加(+1,071百万円)
未払消費税等の増加(+826百万円)
売上債権の増加(▲1,255百万円)

◆投資活動CF：有形固定資産や投資有価証券の売却による収入の増加(+3,475百万円)
有形固定資産の取得による支出の増加(▲1,494百万円)

◆財務活動CF：短期借入及び長期借入による収入の減少(▲4,100百万円)

設備投資・借入金

単位:百万円

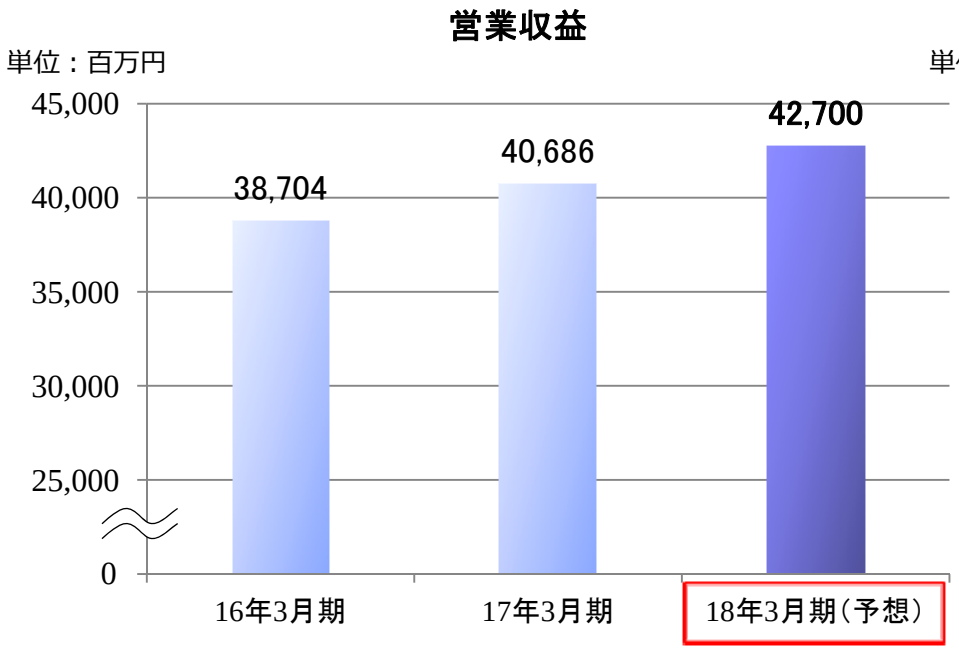
	16／03期	17／03期	増減額	18／03期（予想）
設備投資額	5，817	6，055	238	10，300
主な投資案件	・九州営業所関連 ・TVPビル取得 ・鶴屋町再開発関連　など			

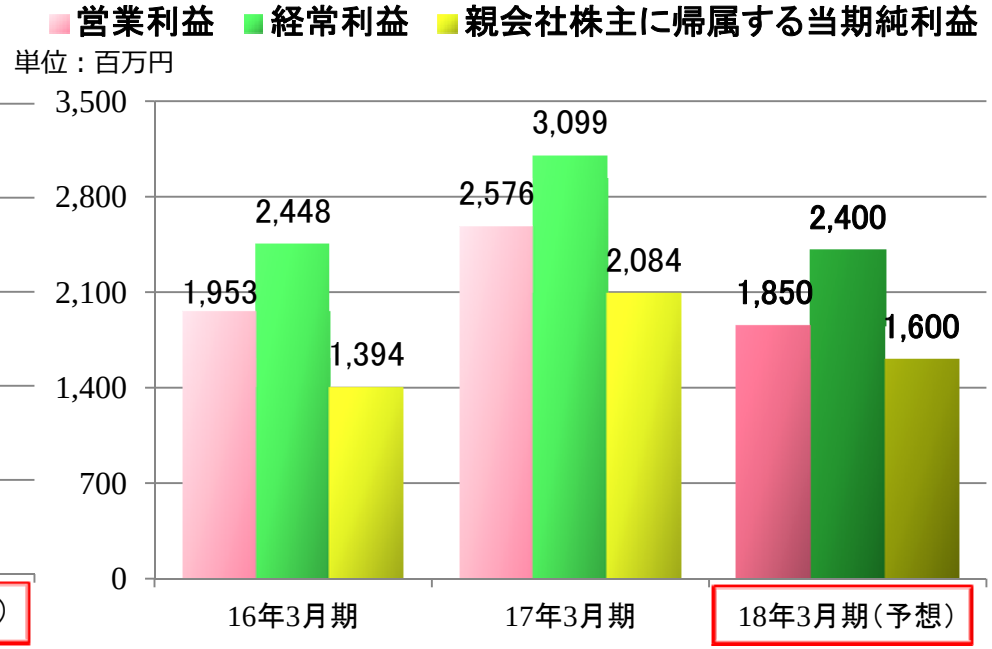
減価償却費	2，223	2，403	180	2，510

期末借入金残高	25，187	24，777	▲409	29，400

３．２０１８年３月期通期の見通し

連結業績予想





単位：百万円	前期比	
	増減額	増減率
営　業　収　益	2,014	5.0%

単位：百万円	前期比	
	増減額	増減率
営　業　利　益	▲727	▲28.2%
経　常　利　益	▲699	▲22.6%
当期純利益	▲484	▲23.2%

・営業収益は、メディカル分野やＩＴ機器取扱分野における取引拡大、新倉庫の稼動により増収を見込む。

・営業利益は、修繕費の増加や新施設の竣工に伴う租税、減価償却費の増加等により減益を見込む。

重点施策

◆九州域内のビジネス拡大

◆配送ネットワークの拡大

◆メディカル物流の拡大

（MBU東京物流センター、九州営業所の活用）

◆ＩＴキッティングの拡大

◆大型設備輸送案件の獲得

◆上海青浦倉庫(１号倉庫）の早期安定稼動と２号倉庫の建設取組み

配当政策

＜配当方針＞

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2014年３月期	年間配当14円	（連結配当性向27.2%）
2015年３月期	年間配当14円	（同26.0%）
2016年３月期	年間配当14円	（同30.5%）
2017年３月期	年間配当14円	（同20.3%）
2018年３月期	配当水準維持予定	

年間配当14円予定

（中間配当：7円、期末配当：7円）

お客様を支える存在になる為に

「中期経営計画２０１８」
お客様のビジネスをサポートする
グローバルな物流会社

課題解決にスピーディーに応える
ソリューション提案型営業の徹底

お客様に潜在するロジスティクス・
ニーズをいち早くキャッチ

「品質」と「生産性」の向上

YASDA

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。
投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。